

TAIYO 血小板凝集能測定装置 全血式 WBA カルナ

【警告】

〈使用方法〉

- ・ 感染の危険があるので、検体に触れないよう注意すること。
- ・ 感染の危険があるので、検体は適切に処理すること。

【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

- ・ 本装置は血小板凝集能測定専用なので、他の目的には使用しないこと。
- ・ 血小板凝集能測定用試薬以外は使用しないこと。

*【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、装置本体と、制御用ソフトがインストールされたパソコンから構成され、必要に応じて、プリンターを接続し測定結果を印字させる。

2. 外観



WBA カルナ 本体 制御用パソコン

3. 仕様

- ・ 検体量 : 200 μ L
- ・ チャンネル数 : 4 チャンネル
- ・ 加温温度 : 37.0 $^{\circ}$ C $\pm$ 0.5 $^{\circ}$ C
- ・ 寸法 : 421(D) $\times$ 320(W) $\times$ 404(H)mm
- ・ 重量 : 18kg

4. 電氣的定格

- ・ 定格電圧 : 100V 50/60Hz
- ・ 消費電力 : 120VA

5. 原理等

血小板の最も重要な機能は止血における血小板血栓の形成である。血管が損傷を受け、内皮細胞が剥がれて膠原細胞が露出されると、血小板がその部位に粘着・凝集して一過性血小板血栓が造られ止血するのが出血に対する最も早期の反応である。

血小板が異物に付着する現象が粘着であるのに対し、遊離血小板が互いに付着して凝集塊を形成する現象を凝集といい、この現象を測定するのが血小板凝集能測定装置である。

測定原理は SFP(Screen Filtration Pressure)法を採用している。全血に一定濃度の血小板凝集惹起物質を添加・攪拌し、マイクロメッシュフィルターを通して各濃度の惹起凝集血液を 4 チャンネル同時に吸引する。血小板凝集塊がマイクロメッシュフィルターの穴を目詰まりさせることによって生じる吸引圧を測定して、血小板凝集惹起物質の濃度から血小板の活性化の程度を解析、血小板凝集能検査の評価判定を行う。

【使用目的又は効果】

本装置は、血小板の止血機能内で最も重要な働きの一つである、血小板凝集能の検査を行う装置である。

【使用方法等】

1. 使用方法

本品の使用においては、あらかじめ取扱説明書を確認すること。

〈装置の準備〉

- (1) 取扱説明書に従い、使用前点検を行う。
- (2) 装置とパソコン、場合によってはプリンターが各ケーブルによって接続されているかを確認する。
- (3) 電源ケーブルコネクタを電源ケーブルソケットに接続し、電源プラグを商用電源に接続する。

〈測定前の確認〉

- (1) 基本画面で温度表示が 37.0 $^{\circ}$ C $\pm$ 0.5 $^{\circ}$ C を表示していることを確認する。
- (2) スターラーバーを入れたキュベットを全チャンネルに挿入し、スターラーバーが回転していることを確認する。
- (3) 検体分注前にスターラーバーをキュベットに入れ忘れていないことを確認する。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ・ 測定を始める前にスターラーバーを入れたキュベットを本体の検体位置にセットし、スターラーバーが回転していることを全てのチャンネルで確認すること。
- ・ 測定は採血後 1~2 時間以内に実施すること。
- ・ 血液検体は室温で保存すること。冷蔵保存すると血小板凝集能に影響を与えるので冷蔵保存した血液は測定対象としないこと。また、血液を長時間キュベットに分注した状態にしないこと。
- ・ 測定精度を維持するために、マイクロメッシュフィルター、測定チューブ、スターラーバーなどの消耗品は必ず新品を使用すること。
- ・ 熟練した者以外は本装置を使用しないこと。
- ・ キュベットなどの消耗品は指定されたものを新品の状態で使用すること。
- ・ 恒温槽の中に試薬や検体をこぼした場合、ただちにきれいな布か、紙で拭き取る。
- ・ 使用前に外観及び機能上の問題が無いことを確認する。
- ・ 正常動作をしない、又は正常な測定結果が得られない場合、下記の事項を確認する。
 - A) 定格電源電圧で使用されていること。
 - B) ヒューズが断線していないこと。
 - C) 上記の測定前の確認事項に異常がないこと。
 - D) 検体に異常がないこと。
 - E) キュベットが汚れていないこと。
 - F) 検体又は試薬の劣化がないこと。
 - G) 試薬濃度や試薬添加量を間違えていないこと。以上を調べても解決できない場合、株式会社タイヨウが認定するサービスマンに点検修理を依頼すること。

〈その他の注意〉

- ・ 直射日光の当たらない場所に設置すること。
- ・ 株式会社タイヨウが認定するサービスマン以外の人がカバーを外したり、分解をしないこと。

取扱説明書を必ずご参照下さい

【保管方法及び有効期限等】

保存環境温度：－5 ～ ＋50℃

作業環境温度：15 ～ 30℃

＜保管方法＞

1. 気圧、温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオン分を含んだ空気等により悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
2. 傾斜、振動、衝撃（搬送時を含む）など安全状態に注意すること。
3. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
4. 機器は次回の使用に支障のないように必ず清浄にしてダストカバー又は梱包箱に保管すること。

*＜耐用年数＞

本体 7 年 [自己認証（製造業者データ）による]

ただし、取扱説明書通りに使用され、指定した保守点検及び消耗品の交換を実施した場合。

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

1. WBA カルナ本体表面のクリーニング

本体カバーは、薄めた中性洗剤を含ませよくしぼった柔らかい布で、汚れやほこりを拭き取り、次に、水で湿らせた柔らかい布を使ってよく拭き取る。

2. 測定部が汚れた場合のクリーニング

測定反応槽に試薬をこぼした場合、ただちに測定を中止して、綺麗な布・綿棒などを使って、注意して良く拭き取る。

試薬保冷槽の中も綿棒等を使って綺麗にすること。

測定終了後は測定部にカバーをかけること。4 チャンネルピペットなども綺麗にすること。

＜使用前の点検＞

しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

*＜業者による保守点検事項＞

機器及び付属品は必ず、年 1 度メーカー所定の定期点検を行うこと。

【包装】

1 セット

【主要文献及び文献請求先】

株式会社タイヨウ 営業部

住所：〒536-0025

大阪府大阪市城東区森之宮 2-4-29

TEL 06-69692421

E-mail：info@t-taiyo.com

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者の名称：株式会社タイヨウ

住所：〒536-0025

大阪府大阪市城東区森之宮 2-4-29

TEL 06-69692421

製造業者の名称：株式会社タイヨウ

住所：〒536-0025

大阪府大阪市城東区森之宮 2-4-29

TEL 06-69692421